



令和6年11月14日

東京製鐵株式会社

プラチナ構想ネットワークより「優秀賞（アップサイクル賞）」を受賞。

当社は今般、プラチナ構想ネットワーク（会長：小宮山宏・三菱総合研究所理事長）より、「第12回プラチナ大賞」の優秀賞（アップサイクル賞）を受賞し、さる11月6日に東京・銀座の時事通信ホールで受賞式典が行われました。「プラチナ構想ネットワーク」は、環境と調和のとれた持続可能な社会を「プラチナ社会」と名づけ、その実現に取り組む自治体や企業などから成る連携組織で、毎年「プラチナ大賞」を設け、イノベーションや卓越したアイデアによって地域や社会の課題解決に資する取り組みを表彰しています。

受賞対象は「壊したビルから、クルマを造る。～広がる、鉄スクラップ活用の可能性～」と題して、ベンチャーEVメーカーのF O M M（本社：横浜市 鶴巻日出夫社長）と協働して進めた「アップサイクルカー・プロジェクト」です。本プロジェクトは、「鉄使用の主流」とも言える「自動車」に、果たして「電炉の鉄」はどこまで「使える」のか？この問いに一つの答えを出すべく、「F O M M」の自動車にどこまで当社鋼材を使って頂けるか、という大きな実験であり、最終的に車体に使用されている構造部材のうち、使用されているものの72%をアップサイクルした当社の鉄にチェンジできました。

当社はこれからも、ヘビースクラップを多様な用途に使える鉄に生まれ変わらせるイノベーション「アップサイクル」の取り組みをさらに加速させてまいります。



<受賞式の模様>

本件についての問い合わせ先 東京製鐵株式会社 総務部総務課 (03-3501-7721)